

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3		2	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1		2	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	11	1	3	入口にスロープができると良いですね。2階への階段が新たかは急。 設備面は満足だが車いす等の機器が子どもにあっていないと感じる新たか2階の階段は少々危ないところがあるかな。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>計画</u> が作成されているか	26			2	
	5	<u>活動プログラム</u> が固定化しないよう工夫されているか	26			2	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	14	2	3	・あまり必要性を感じない。逆に放課後児童クラブはデイとの交流をするようにしているのか。 ・これから交流できればいいと思います。 ・今後実施できるようにしてくれています。 ・研修等してくれています
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1		2	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	1		2	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26			2	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	6		2	放デイでの保護者会・・・難しそう。BBQやボウリング、福祉事業所見学会やイベントで知り合うチャンスを作ってもらえているので感謝しています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26			2	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26			2	

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	2	2	
	14	個人情報に十分注意しているか	26		2	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	2	2	保護者会で説明してもらいました
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	4	2	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	2	はいの部分に2重〇と花丸を書いていた保護者さんもいました
	18	事業所の支援に満足しているか	25	1	2	はいの部分に2重〇と花丸を書いていた保護者さんもいました

ご意見ご感想ありがとうございました。

放課後児童クラブについて（保護者さんのご意見）マスの中に描ききれなかった部分

- ・役所？厚生労働省？の意図が不明ですね。
事業所が交流したいと申し入れをしてもやってくれない。
障害児だけをまとめておくということ？それがインクルーシブ？
- ・放課後のわずかな時間で様々な学年、学校のお子さんたちが通う放課後デイでどうやって交流するのかナゾ。としか思わない。
たからばこは地域にでてクリーン活動とかしているし、それじゃだめなの？
- ・児童育成課さんへの働きかけをしていることは承知しています。
来年度実施できる事を期待しています

保護者会について（保護者さんのご意見）

- ・私自身は横のつながりがあるが、もしかしたらない人もいるかもしれない。しかし個人情報の問題もあると思うので利用者全員とは難しいと思う
- ・報酬改定の荒波の中、いろいろと工夫して支援していただいていると感謝しています。緊急時の対応の公表などしっかりしていると思います。

去年との比較や検討事項を記載しました。

- ・放課後児童クラブの項目以外の評価はあがっている。
- ・特に「はい」の回答が多くなったのは
 - ⇒保護者会、保護者同士の交流
 - ⇒自己評価の結果報告、定期的な会報、行事予定など
 - ⇒緊急対応マニュアルの説明
 - ⇒避難訓練の実施

29年のアンケートで保護者さんがたからばこに対して「足りない」「もう少し」と感じている部分がよくわかり事業所としても気が付いた部分、やれることから改善等に取り組んできました。

その部分が保護者さんたちにも伝わってきた。

項目的にも30年度のアンケートで「はい」の回答が多くなったと思われます。今後もしできる部分から改善の努力をしていきたいと思えます。

今年度の改善点として考えていく部分

(環境)

- ・新たか 2 階へ手すり等をつける
 - 新たかの階段の溝を埋める手立てを考える
- ・そのための資金確保
 - 国の制度、補助金(経済産業省のもので当てはまるものがないか確認)
 - 民間の財団等の助成金の申請(放デイの基本報酬では改装費用は確保できない)

「設備面は満足だが車いす等の機器が子どもにあっていないと感じる」

とご意見をいただきました。

児童にも不便、保護者にもご心配をおかけしています。

成長、体格にあったサイズの椅子を私たちになりに去年も確保への努力をしてきました

・市役所への確認

⇒座位保持椅子等の補助は学校用、家用の2か所しか制度上の補助はでない。放課後デイなどの活動場所で使用する座位保持椅子への補助はないので事業所か保護者の全額実費購入になる

・金額的に簡単に買える物ではないので譲ってもらえそうな学校や団体に依頼。(しかし、なかなかタイミングやサイズがあわず)

・メルカリやリサイクルショップ

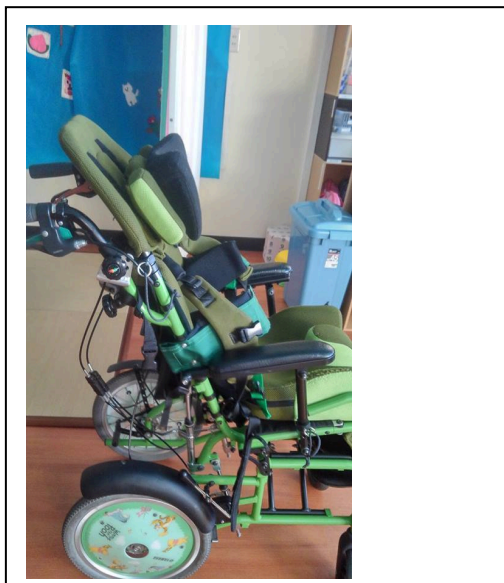
リサイクルショップ→車いすはあるが、座位保持椅子はほぼ売られて来ないし買い取りをすることもない(一部の店舗ではありましたが欲しいサイズではなかったり、見に行ったタイミングではない)
メルカリ→壊れているものだったり、写真のみなのでサイズの的に大丈夫か不安

・秋に行われる国際福祉機器展を見学

レンタルできるものを二度取り寄せ。

(使い勝手とその児童にあわなかったため返却)

・今回は県立船橋特別支援学校の先生にも再度お願いし、海外へプレゼントする中からサイズの的に合いそうなものを確保していただき二台寄付していただきました。



緑の小さ目サイズと

ピンクの大き目サイズをいただきました。

(ほぼ機能的にはおなじ。メッシュ、リクライニングあり、カットテーブルあり)

12月にいただいたばかりなので、

まだまだ

工夫しなくてはいけない部分もありますが、いただいたものを上手に活用できるようにしていきたいと思っております。

★今回は県立船橋特別支援学校の先生方にご協力をいただきましたが、もし

年末までに確保できなかつたら、、、という事も考え、友人に教えてもらい「ポルカ」というクラウドファンディングにも申請していました。

確保できたので今回申請は取り下げましたが、今後の事を考え、必要時にはそういった確保の仕方も考えていきたいと思っております。

★いままでも保護者さんのご協力でカーシートの確保、座位保持椅子の確保、車いすの確保が出来ていました。ありがとうございます♪

今後也讓渡会や展示会の情報がありましたら是非、教えてください。よろしくお願ひします。

★29年度は

八千代特別支援学校の「かたつむりクラブ」さんに座位保持、食事用エプロンのご寄附、新しいスタイ（よだれかけ）を作成していただきました。

★かたつむりクラブさんからご寄附いただいた小さいお子さん用の座位保持椅子の綺麗なものは、まめの木さんに譲渡させていただきました。

★長年使った座位保持椅子2脚は昨年末に処分しました。

場所の確保も大変なため、必要台数のみ準備、確保していきたいと思っております。

（保護者会）

・事業所としてはBBQ、ボーリングなどで交流を引き続き企画しているが固定のご家族の参加になっている。

・先日行ったグループホーム見学の時、保護者さん同士で話がはずんでいた。（女兒の保護者さんのみ。女性棟の見学だったので）こういう企画の時にランチまで一緒にして情報の交換等ができる

いいかと感じた。今年度秋には事業所 2 か所見学＋ランチ
などを計画していきたい
その前に見学したい事業所ができれば随時見学を企画していきたい

(放課後児童クラブ)

- ・放課後児童クラブへの働きかけは今後も継続
- ・民間事業所連絡会の研修企画を見童育成課へも郵送。

職員間での交流ができる機会も増やし困りごとの共有をしていく。

しかし、、、

そもそも

放課後児童クラブは小学生(4年生くらいまで)であり、
児童館なども習志野は少ない(あずま児童館は閉鎖)
交流する場に行く事も放課後は時間的にも厳しい。
高校生が多い「たからばこ」にとって放課後児童クラブとの交流は
年齢にあった交流になるのかが疑問です。

現在、移動支援で出かけていく事、デイで出かけていく事
(ハイキング、外食、ワークショップなど)など個別での対応も考え
ながら外出や交流を考える方が
年齢的には自然な交流ではないかとも思います。

対象をどう考えているのかが気になる設問ですが、国の出している
基本のアンケートなのでどうにもできませんが、
私達なりに地域との交流や年齢や発達に即した交流は考えてい
きたいと思っています

(避難訓練)

- ・やった事をお便りにして出す
- ・時間の関係で土曜日に多く企画するが長期休暇で他の児童も参加できるように避難訓練などを考えていく

今後の課題として

- ・災害時アンケートの実施（緊急連絡先やお仕事場からの帰宅時間、連絡方法の確認）
 - ・職員間で伝言ダイヤルの練習
 - ・遊びの中の避難訓練（おーちたおちた。じ、地震だ！）
身を守る方法を練習する
 - ・避難所の特性を生かした避難訓練など（食事なども）

お忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。

いただいたご意見を反映できるように、この一年も頑張ってお参ります！

たかたばこ